

平成20年度
第1回 熊毛地区地域審議会
会議録

期 日：平成20年5月16日（金）

場 所：周南市熊毛総合支所

【会 議 次 第】

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

4 議 事

(1) 新市建設計画の進捗状況調査報告について

(2) その他

5 閉 会

平成20年度 第1回熊毛地区地域審議会 会議録

日 時 平成20年5月16日（金）13：25～15：35

場 所 周南市熊毛総合支所 東庁舎2階会議室

出席者 ・委員14名（欠席1名）

丸山 和之(会長)、久野 利夫(副会長)、前田 芳子、佐久田美智枝、藤井 里美、
竹本 新、中村 美代子、小松 峯子、西村 照子、上田 辰巳、上田 悟、
河内 卓彦、檜山 隆、岡田 貞克

・事務局(市職員14名)

総合政策部次長 原田英夫

企画課課長 中村孝、課長補佐 原田義司、主任 中村充孝

環境政策課簡易水道担当主幹 坂本修治、課長補佐 村井信治

熊毛総合支所市民生活課課長 守田千秋、課長補佐 渡辺由也、担当主査 家永敦夫

熊毛総合支所長 青木龍一、次長 石光秀雄

熊毛総合支所地域政策課課長補佐 佐伯信治、担当主査 中村悟、主査 鵜飼香澄

資 料 ・「新市建設計画進捗状況調査報告」
・「熊毛地域の水道基盤整備について」
・「新市建設計画の進捗状況に対する意見等の記入に当たって」H20 地域審議会アンケート

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

(1) 熊毛総合支所長あいさつ

●総合支所長 周南市が誕生して6年目、また島津市政2年目になります。今年度は周南市再生の本格的なスタートの年として「安心・安全なまちづくり」を市民協同のもとで取り組んでいます。地方を取り巻く環境は大変厳しいですが、周南市に住んでよかったと思えるまちづくりに取り組んでいきます。

委員のみなさまには忌憚のないご意見を出していただき、よりよいまちづくりのために引

き続きご支援いただきますようお願いいたします。

(2) 会長あいさつ

- 会長 合併してから5年が経過し、周南市から「新市建設計画進捗状況調査報告」が出されましたので、このことについてみなさんの意見をいただきたいと思います。

前回の審議会で質問があった水道基盤の整備とコアプラザ熊毛の進捗状況については、事務局に説明いただきます。

熊毛地区の地域審議会としてみなさんの意見も聞き、今後の取り組みなど、がんばっていききたいと思いますのでよろしく申し上げます。

(事務局の自己紹介)

4 議事(要約)

(1) 新市建設計画の進捗状況調査報告について

- 会長 前回の審議会で意見のあった熊毛地域の水道基盤の整備について報告をお願いします。
- 事務局 ≪資料の「熊毛地域の水道基盤整備について」に沿って説明≫
- 会長 水道基盤整備としては、水源の確保と未普及地域への解消及び老朽管を更新していくという説明でした。説明を受けて、ご意見はありませんか。
- 委員 地域の方から、下松市や光市から水をもらう方が金額的に安くなるという意見を聞きました。しかし今の説明だと、ダム建設の補助を受けている熊毛地区は補助金返還の可能性があるということですか。また、光市や岩国市はダムの水を使用しないということですか。
- 事務局 周南市は水利権を構成団体(光市、岩国市、周南市)に分割することを提案しています。
県は中山川ダムの建設当時、広域的水道整備計画を定めていますが、この計画と整合しないと水道の認可がありません。
光市は渇水時の予備水源として活用するとしていますし、また、岩国市は周東地区と玖珂地区の将来整備の時に活用するとしています。
- 委員 光市と岩国市は、今後もダムの水を使うから補助金返還しなくていいということですか。
- 事務局 そうだと思います。3年前ぐらいから、水利権分割について活用を考えるなら国は補助金返還を求めないと聞いていますので、最終的には補助金返還しなくていいと判断されると思います。
しかし、ダムが必要だということで補助金を出し建設したわけですから、一切ダムの水を使用しないとなると、補助金返還を求められると思います。
- 委員 水利権分割の活用時期はいつごろになりますか。
- 事務局 広域水道の事務局が厚生労働省との協議を始めております。その協議を進めなが

ら水道の認可も取らないといけません、できるだけ早い時期に、と思います。

●委員 それは4、5年かかるということですか。

●事務局 そう思います。

●会長 合併の時から熊毛地区の水道基盤整備については意見があがっていたわけですから、できるだけ早くお願いします。この水道に関して熊毛地域のみなさんは関心を持たれていると思いますので、広報などでの情報提供をお願いします。

その他、ご質問はありませんか。

●委員 以前は団地の水不足について聞いたことがあります、最近はどうですか。

●事務局 水が少なく断水した、ということは現在ございません。

●委員 今後、水道基盤整備ができたとしたら、水道料金はどの程度かかりますか。料金などの内容がはっきりしてないと事業が失敗してしまいます。下水道事業と違って強制力がないため加入は自由だということですが、事業が赤字になると水道料金は値上がりすると思われれます。そうすると、たとえ水道区域が広がってもなかなか加入者は増えないと思います。現状や地域の意見も充分聞き、採算の合う事業を進めていただきたいと思います。

●会長 次に「新市建設計画の進捗状況調査報告」について説明をお願いします。

●事務局 ≪ 資料「新市建設計画進捗状況調査報告(平成15年度～19年度)」に沿って説明 ≫

●会長 合併当初、むこう10年間の新市建設計画が作られましたが、事業計画と財政計画が一致したものでないため、5年を経過した現在、未着手事業が多くみられると思います。そこで、この進捗状況と照らし合わせながら熊毛地区の課題についていろいろ意見を出していただき、後期5年間の熊毛地域のまちづくりの進め方について考えていきたいと思っています。

新市建設計画の進捗状況調査報告にはいろいろな項目がありますが、意見や質問を受けたいと思います。

●委員 周南市が良くなるのであれば、どこの事業着手や着工が先になっても問題じゃないと思います。私は熊毛総合支所周辺の中央土地区画の整備について、合併したからこそ事業が早く進んでいると思っています。しかし、熊毛地域の人から「合併して何もよくなりません」という声を聞くのも事実です。

資料調査報告書の5ページに調査対象事業実施状況があります。これを見ると、熊毛は事業数も多いのですが、そのうち半分が未着手事業となっています。事業別状況を見ると市道の改良や要望が多いことが原因かもしれません。コアプラザの事業計画についても、5年目にしようやく「検討中」となりました。

事業成果が無いと寂しい思いがします、周南市全体のバランスを視野に入れた早期事業実施をお願いしたいです。

●会長 熊毛地区の事業件数は確かに多く、44件に対して20件が未着手です。この件についてご説明いただけますか。

●事務局 言い訳になってしまいますが、コアプラザのような事業については、設計に持っていくまでにいろんな検討課題があります。また、工事などもすぐにはできるというものではありませんので、状況に応じ優先順位をつけさせていただいております。

道路等については要望が非常に多いので、周南市全体のバランスを考えて進めています。

- 会長 市の方もいろいろ検討はされていると思いますが、熊毛地区の進み具合は悪いように感じます。

鹿野地区は乗り合いタクシーの運行が始まりました。熊毛地区も今後少子高齢化が進むと買い物や医療機関に行くための交通手段が無くなる可能性があるので、これからの課題になると思われます。

周南市も財政難で、事業をすぐ進めるということにはなかなかいかないと思いますが、お互いに知恵を出し合っていきたいと思います。

- 委員 資料の中に具体的な表示はありませんが、子育て・教育分野の児童クラブについて質問します。

合併前まで児童クラブでは、小学6年生の児童までを預かってもらっていました。しかし、周南市になり1年から3年の低学年のみの預かりとなっています。働きに出ておられる方は、子どもを預かってもらえないと仕事をやめなくてはなりません。子どもを育む環境づくりは少子高齢化が進む今の時代、とても大事だと私は思います。

- 事務局 児童クラブについては所属が違うため、ここにいる事務局では即答できません。受け入れの現状などを確認し、改めて回答させてください。

- 会長 では児童クラブの受け入れ制度について調べていただき、改めて報告をお願いします。

- 委員 事業が思うように進んでいないのは、合併直後からの三位一体の改革や各収入の減額が大きな原因ではないかと思います。

先ほど説明の中に、事業に取り組むための優先順位について話が出ました。資料の12ページから13ページにかけて、西原安田線という事業名で県道と市道あわせて4つありますが、4本道路ができるということでしょうか。

- 事務局 まず、ふれあい徳修線ですが、こちらは自転車専用道路ということで三丘徳修館から勝間ふれあい公園までに続く道です。

次に西原安田線ですが、これは県道と市道があります。県道の方は西原交差点から農協までの間の直線を改修しています。市道の方は鶴見台団地の山手側から勝間中村地区へ抜ける道を予定しています。これらのことから、事業名は同じですが、新設・改修道路は別々なものとご理解ください。

- 委員 私が一番に考えて欲しいと思うのは、インフラ整備です。たとえば生活道路などの早期整備を目の当たりにすると、地域の方は「合併してよかった」と感じると思います。

コアプラザも当然必要だと思います。しかし、施設などは維持費がかかると聞いています。もう一度、地域住民の意見を聞いたうえで精査され、住民生活に密着したものから事業を進めていくといいと思います。

- 会長 インフラ整備というのはいろんな意味で大事です。また、コアプラザについても熊毛地区が一体となるという意味では、ぜひ必要だと思います。

資料にある計画についてすべてを市に任せるのではなく、熊毛地域の必要性を見極め、意見や声を出していくことが大事だと思います。「まちづくりは自分たちでやっていく」という意識を強く持っていただき、市と地域が一緒になって取り組んでいくという意識改革をしていく必要があると思います。

- 委員 道の駅について発言させていただきます。

3月24日に周南再生戦略会議から市長へ「道の駅設営計画」の答申がありました。この中で、熊毛地区の国道2号線沿いに1.5ha規模の道の駅を作ることが記載されていますし、実証試験のための予算化がされたようです。熊毛地域の声を大きくし、意見を汲み取ってもらうには、部会を早急に立ち上げていく必要があると思います。

- 会長 周南再生戦略会議の重要課題の中に、道の駅の整備があがり予算化されたわけですね。道の駅についての情報はどのようになっていますか。

- 事務局 農産物加工所の実証試験と交通量等、適地選定をするための基礎調査にかかる業務費用は既に予算化されています。

本来、道の駅とは道路の付帯施設、いわばドライバーのための休憩場所です。しかし、トイレや駐車場だけの休憩所となるとなかなか集客力が見込めません。農産物販売や特徴ある集客施設など、具体的に検討がされないと実現は難しいと思います。そこで農産物の販売については実証試験をすることになりました。

農産物については、道の駅があることで熊毛の特産の質が向上する、また生産量が増加するといったプラス面を引き出したいと思っています。

そのためには市を含めた地域の「やる気」が不可欠です。生産者だけではなく、消費者、自治会の方、また農業協同組合などの協力を得て協議・検討の場を持ち、来年度からの着手を目指しているところです。

ただし、道の駅整備にあたっては国土交通省と協議し認可を得なければなりません。市と地域住民が一体となって盛り上がり「熊毛地区のやる気」を国土交通省に汲み取ってもらえるよう一緒に取り組んでいきたいと思っています。

- 会長 地域の活動が活発になるようがんばっていかないといけませんね。

ところで、この地域審議会に対して市長から道の駅に関する諮問が出る予定はありますか。

- 事務局 道の駅に関する諮問はないと思われます。しかし、道の駅整備は新市建設計画の項目の一つですので、この地域審議会でも議論し建議することは、職務の一つとして捉えていいと思います。

- 委員 地方交付税などの収入部分がかなり少なくなったため支出部分の予算取りが難しくなっているのが今の状況だと思います。資料の説明を聞いたところ、今計画されている事業はハード事業が多いように思われます。

高齢化率が高くて人口も減少している県外地区では、市民と行政が一緒になってものづくりを行なう、いわばソフト事業の促進に力を注いでいるようです。

道の駅についても特産品の開発や製造、または花を植えて観光事業を展開するなど、みんなが一緒になって創り上げ、いろんな方に寄ってもらえるようなものを考えるソフト事業を各地で進めないといけないと思います。

- 委員 前回の会議でもお話しましたが、勝間ふれあいセンターから勝間駅までの道を拓いてほしいとお願いしました。しかし、そこにある住宅地には既に塀が立ち、道の片側は拓けられなくなりました。また、その近くの交差点では中学生と車がぶつかるような状況です。これらの道路は通学路になっており、学生は道幅いっぱいになって下校しています。

先日、中学校の校長先生にお会いして状況を説明しました。学校側も登下校時の交通指導

をされているようですが、なかなか改善されない状況です。

私も道幅いっぱい下校している様子を見かけたときには注意しますが、今のままだと事故がおきかねません。そんな危険な状態から子供たちを守ってほしいと思います。

それと、私たちは地元で地域の花壇に花を植え、育てる活動をしています。こちらの応援もよろしくをお願いします。

●事務局 本格的な道路改良で道を拓げるためには、用地を確保するための地権者協力が欠かせません。しかし当面は、子供たちの安全確保について現状の中でとりうる最大限のことを、地域や行政、学校が互いに協力し、知恵を出し合いながら取り組んでいかなければならないと思います。中学校側には現状を報告し協議したいと思います。抜本的な解決としての道路改革はもう少し時間をいただきたいと思います。

●会長 みんながとても心配されているので、もう少し指導を強化してもらいたいと思います。

●事務局 花壇に花を植え、育てる活動についてお話がありましたが、市では花いっぱい運動を推進する基本的な方針を出しています。現在、長期的な施策として検討段階にあることをお知らせします。

●事務局 ただいまの説明に補足しますが、周南市は「花と緑のあふれるまち」を目指し、地域への財政的な支援をする方針を固めています。花のあふれるまちづくりを地域に浸透させるためには、現在ご協力いただいている方々はもちろんのこと、より多くの担い手を増やし、活動を活発にしていかなければなりません。みなさんには、いいお知恵や協力いただける方を募っていただきたいと思いますのでご協力をお願いします。

●委員 今の話の活動地域は勝間でしたが、三丘地域の方も花いっぱい運動に関してはがんばっています。熊毛インターを出たところの花壇をはじめ、和田地区や川尻地区の花壇など、地元の人たちが任意で維持・管理しています。

●委員 話の中で、まちづくりを進めていく上で私達市民と行政が一体となって盛り上がっていく必要があるということでした。

聞くとところによると、周南市全体で見ると熊毛地区は目立たないそうです。地元にいるとそう感じませんが。

●事務局 実際はそうではないと思います。ただ、地域の知名度という点ではあまり高くないように感じます。たとえば「三丘徳修館」と聞いて地域外の方がどれほど施設のことをご存知でしょうか。そういった意味で熊毛地区はマスコミに取り上げてもらえるような情報発信力をつける必要があると思います。熊毛地区を盛り立てていくため、どんどん情報発信していきましょう。

●会長 三丘徳修館では今年200周年記念行事があり、実行委員会も立ち上がっています。今の話であったように、たくさんアピールして多くの方に来ていただきたいと思います。

それでは、今回の資料でお配りしています「新市建設計画の進捗状況に対する意見等について」の課題や問題点等については意見を記入し、後日提出いただきたいと思います。

●委員 進捗状況の事業実績は19年度までで20年度については予定ということでした。資料作成後、20年度に入ってから事業の着手着工や完成などの変更個所があれば教えてください。

- 事務局 事務局で把握している変更事業は、コアプラザ事業と水道事業です。水道事業については最初に説明いたしました。御所尾原地区の老朽管更新が今年終わる予定です。幸ヶ丘、自由ヶ丘地区については今年から来年にかけて、古い水道管を順次更新していく予定にしています。コアプラザについては最後にご説明いたします。
- 会長 今後の流れとしては、提出していただいた意見に対しての勉強会を開き、8月初旬に審議会にかけて、みなさんの承認をいただきたいと思います。地域審議会から市への提出は秋ごろを予定しています。

(2) その他

- 事務局 < 「(仮称)コアプラザ熊毛整備事業の進捗状況」について、パワーポイントを使って説明 >
- 会長 鹿野の図書館は今の熊毛図書館の4倍ぐらいの広さがあると聞いていますが。
- 事務局 全体の面積は、熊毛図書館が330平米で鹿野の図書館は約830平米です。ただし、鹿野の図書館は開架ホールに加え、視聴覚室や研修室などを含めた広さになっています。

3 閉 会

会長あいさつ

- 会長 国内外、いろんな問題がありますが、いずれにしても地域がお互いに情報交換しあって協力していかなければならないと思います。そのためにも、この審議会委員のみなさんにしっかり地域の声を聞いてもらいながらそれを反映させ、地域審議会を活発なものにしていき、まちづくりに役立てていきたいと思いますのでよろしくお願いします。どうもありがとうございました。